



七里つ子

道志小学校 学校だより 令和7年12月25日

【学校教育目標】

確かな学力 豊かな心

健康な体 郷土愛

文責：校長 深沢昭彦

82日間の2学期が終わります。一番長い学期で80日を超えるので長いように感じていたかもしれません、振り返るとあっという間の2学期だったという人がほとんどだろうと思います。

始業式で話した「面白い」と「面倒」から今学期を振り返ってみたいと思います。

面

白

じ

「面」という漢字は、体のどの分を表すかというと「顔」。そこで、顔を上げて過ごすと、顔に光が当たり白っぽくなることから、顔を上げて生活すると面白くなるよ。という話をしました。反対に顔を下げる（顔が倒れる）と光が当たらず黒っぽくなるよ。そうすると面倒だなどか。面白くないと感じてしまうよと話しました。

2学期は、顔を上げて活躍する場面がたくさんありました。運動会、音楽集会、親子体験教室、親善音楽会、保健・給食集会、児童会役員選挙、愛校作業と活動を楽しむ皆さんいました。役割分担をし、自分に任された仕事を責任持って行ったことで、違う仕事をしていた人も、違う発表をした人も全員が協力して楽しめ、活躍できたと感じています。

これら以外にも、学校応援隊をはじめとして、多くの人の支えで面白い学びがありました。秋の遠足や校外学習、社会科見学、サイエンスショー、小中合同の全校給食、福祉講話、プログラミング学習、昔の遊び、また、日常の授業でも面白い、楽しい発見があったのではないかと思います。多くの人に感謝です。

一方、面倒だと感じた場面もあったと思います。でも、きっと面白い方が多かったことでしょう。これからも、顔を上げて生活ていきましょう。

「いじめ」とは（いじめ防止対策推進法）

「児童等に対し、同じ学校などにいる児童等が、心理的・物理的な影響を与える行為（ネット含む）で、被害児童等が心身の苦痛を感じるもの」

校長先生からのお願い！

2学期の振り返りも兼ねアンケートを行いました。その中で、「いじめについてどう思いますか」という質問的回答で、8割の児童が「いじめはどんな理由があってもしてはいけない」、残りの2割の児童が「わからない」等の回答でした。「どんな理由があってもしてはいけない」という回答が多くてホッとしました。「わからない」は考えが整理できなかったのではと思い、校長から児童の皆さんにもう少しおしゃってほしいとお願いをしました。そうしたら、「心が傷つくから」や「嫌な気持ちになるから」「自分がされて嫌なことは人にやってはいけないから」などたくさんのお考えが返ってきました。

児童の皆さんの意見を大きく3つにまとめると、

◆いじめられる側への影響；

悲しくなる、心が傷つく、学校に来られなくなる命に関わる

◆いじめる側への影響；

罪悪感が出てくる、自分のためにも良くない

◆生活する環境への影響；

楽しい学校にならない、人が怖くなる
みんなの仲が悪くなる

また、「聞こえていなければ、相手は無視したことにはならない。」という意見もあったので、簡単に相手に向かって無視したと言えないと思いましたし、話をするときに相手の様子を確認することも大切だと改めて思いました。また、児童の皆さんの考えの中にあった「自分がされて嫌なことは人にしない」という言葉を皆さんと一緒に校長も忘れずに生活ていきたいと思います。もしも、あとから相手を嫌な気持ちにしたな、傷つけたなと思ったら、「ごめんなさい」と言えるようにしたいとも思いました。

今回、校長のお願いに真剣に答えてくれた児童の皆さんに感謝です。ありがとうございました。